投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方～社会的にインパクトのあるプロジェクトを測定、可視化、説明、実践する具体的方法【会場】（4122258）

これからのIT部門は、競争力のある差別化システムを作るため、「QCD、SLAの達成」から、企業が継続して成長していくために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に更に視点をあげ、どう実現すべきか戦術が問われています。そして更に、ビジネス戦略に沿ったIT戦略へのIT投資が、企業に更には社会・市場へどのような貢献・変化の影響を与えていくか、測定し明示することが求められています。プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方など必見の講座です。

開催日時	2023年2月16日(木) 10:00-18:00
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価　IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
講師	中谷英雄 氏 （株式会社ピーエム・アラインメント 取締役　ビジネスコンサルティング部長 ） PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター（CSM） プロダクトオーナー（CSPO） ＜略歴＞ １．BIPROGY（旧：日本ユニバック）（１９８３年～） ２．三井住友信託銀行（旧：三井信託銀行）（１９９０年～） ３．ピーエム・アラインメント（２００６年～現職） ・ 主に金融ＩＴ大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・ その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・PM関連：PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連：JUAS（イノベーション研究会会員JIIP3） PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方など 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定時間	7

主な内容

■受講形態
会場のみ（オンラインなし）【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】
■テキスト
当日配布
■開催日までの課題事項
特になし

◆◆投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方
～社会的にインパクトのあるプロジェクトを測定、可視化、説明、実践する具体的方法～◆◆

◆本講座の特徴◆
１．ビジネス戦略とIT戦略のリンケージの重要性を理解し、実現する具体的な手法を習得する。
２．IT投資をベースに、成功とはどのように測定するのか、具体的方法を習得する。
３．IT活動の成果を超えて、市場・社会への変化の影響（インパクト）の測定方法を習得する。
４．プロジェクトの優先順位付け、プロジェクト撤退の客観的な説明方法を学ぶ。
５．プロジェクトの上に存在する上位フレームワークを理解し経営が要求する全体観を身に付ける。

◆趣旨
これからのIT部門は、競争力のある差別化システムを作るため、「QCD、SLAの達成」から、企業が継続して成長していくために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に更に視点をあげ、どう実現すべきか戦術が問われています。
そして更に、ビジネス戦略に沿ったIT戦略へのIT投資が、企業に更には社会・市場へどのような貢献・変化の影響を与えていくか、測定し明示することが求められています。

「プロジェクトの責任者として、どのような視点で組織戦略との合致を確認したらいいのか」
「プロジェクト計画時、プロジェクトのアウトプット（成果）を顧客の企業価値に結び付けるには、具体的にどうすれば良いのか」
「IT組織の活動（プロジェクト、サービス、ソリューション）の成功とはどのように定義、測定されるのか？」
「組織戦略目標との合致を確認し、具体的にどのような方法でプロジェクトの選定／中止の意思決定を行えばいいのか」
「これからプロジェクトを統括する立場（PMO、品質保証組織、IT企画）になるうえで、何を押さえておくべきか」など、ご検討されてる、プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方など必見の講座です。

◆参加者の声◆
・経営に対する説明方法、フレームワークを学べ、非常に良い題材で実践的な内容だった。（製造業）
・実際にプロジェクトを決行するか、撤退するかの判断をすべき立場にあり、理論的で理解が深まった。（建設）
・事業環境が厳しい中、これまでのマインドのままではダメであるという考え方と、何をすべきか刺激をうけた（製造業）
・ワークショップを通じて理解が深まる仕組みになっており、実務に即役に立つ。（製薬）
・難しいテーマにもかかわらず、講師の説明が分りやすかった。（IT系）

◆内容・スケジュール◆
１章．市場を取り巻く環境変化
（１）デジタル化の課題と現状認識
（２）デジタル時代に適応した新しいIT投資管理とは

２章．投資要求に合った価値連鎖の説明
（１）投資要求に対する説明に関する現状認識
（２）企業におけるインパクト測定の狙い
（３）インパクト創造サイクル
（４）インパクト測定計画作成手順
（５）インパクト測定計画 事例紹介
＜演習１＞

３章．インパクト測定計画を用いて、価値創出を説明する
（１）主要なインパクトを特定する
（２）一次インパクトを洗い出す
（３）二次インパクトを洗い出す
（４）ベネフィットマップを完成させる
（５）測定データ収集計画を作成する
（６）経営者に、価値提案を説明する

４章．選択と集中、投資価値の最適化方法を体得する
（１）ポートフォリオの基本的な考え方
（２）様々な優先順位付け方法の紹介
＜演習２＞
プロジェクトの優先順位付けの根拠を論理的に説明する
＜演習３＞
プロジェクト撤退の理由をステークホルダーに論理的に説明する

５章．ITポートフォリオ事例紹介

６章．ポートフォリオマネジメント（フレームワーク）の組織適応は変革が伴う

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。（Business Acumen　7　PDU）